

- ⑤ ゲームが進むと、以下のようにチェーンエリアにウォッチャ!されたカードがどんどん並んでいきます。



### チェーンエリア



- ⑥ 最新の「ウォッチャ!」されたカード以外(つまり過去にウォッチャされたカード)は、下に並ぶ場のカードと同様にキーワードを見つけ出す対象のカードとして使用しても構いません。  
もしそのカードが誰かに使用された場合、過去に「ウォッチャ!」してせっかく置いたカラーコマを自分の手元に戻されてしまいます。



● 緑のプレイヤーの手元にコマが1つ戻されてしまう。

- ⑦ カラーコマが残り1つになったプレイヤーは「リーチ!」を宣言します。最後の1つを置ききったプレイヤーがゲーム勝利となり、ゲームが終了します。(※「最後の1つを置く場合だけは3文字以上のキーワード」などルールを追加した遊び方をしてもいいでしょう。)

### →❀ その他ルール ❀←

- キーワードで使っているのは「固有名詞」、「人名(みんなが知ってる)」、などです。
- キーワードで使ってはいけないのは、「最後に『ん』が付く」、「動詞」、「形容詞」、「擬音」、「色(例:あお、など)」、「文章になることば(例:大きい犬、など)」、「誰かがすでにウォッチャの際に使用したもの」、「1文字」です。

### こんな時どうする・・・?

Q.誰かの発表したキーワードに違和感があったら?

→「異議あり!」と申し出てください。OKと思った人は親指を上へ、ダメと思った人は親指を下に。  
全員で「せーの」で一斉に親指を上か下に向けて多数決で過半数超えた方を採用します。

Q.カード次第で、なかなか誰もキーワードを見つけれず発表出来ず、間延びしてしまったら?

→周りのプレイヤーに了承を得て、山札から新たに1枚をチェーンエリアに置くなどしましょう。

# WOCHA

ウォッチャ

## 遊び方説明書



# WOCHA ウォッチャ 連想力と発見力。 新感覚の絵しりとり。

ウォッチャのルールはとってもカンタン。

出てくるカードの絵からしりとりで繋がるモノや事柄を発見し

チェーン(つなぐ)する。たった、それだけ。

時には目に見えていないものでもあなたの発想力でキーワードを見つけ出し、

まわりのみんなを納得させることが出来たら無事チェーン成功です。



## 内容物



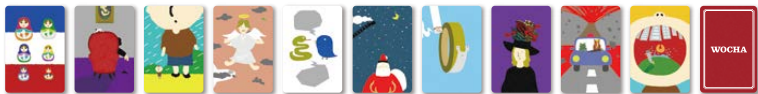
イメージカード  
× 40枚



プレイヤー  
カラーコマ  
6色 × 4個

## ゲームの準備

- 山札をシャッフルし、上から順にテーブルに10枚並べます。
- プレイヤー全員がカラーコマを横一列に並べなくても構いません。これが全員共通で使用するイメージカードになります。山札は裏向きにして近くに置いておきます。



山札

- これで準備完了です。さあ、ゲームをはじめましょう。

## ゲームの目的・勝利条件

ウォッチャはカードに描かれた絵、または絵から連想できるキーワードを使って「しりとり」をするゲームです。各プレイヤーは共通の場に並んだカードからしりとりで繋がられるキーワードを発見し、発見できたらコマを1枚置くことができます。誰よりも早く4枚のコマを置き、手持ちのコマをなくしたプレイヤーの勝利です。

## ゲームの進め方

- スタートの合図で山札から1枚を表向きにし、「チェーンエリア」に置きます。

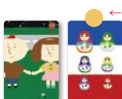


チェーンエリア



全員共通で使用するカードが並ぶ場

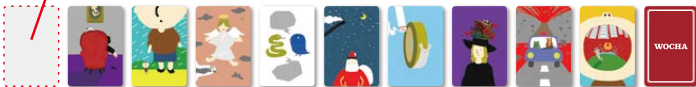
- 最初のみチェーンエリアに出てきたカードから、どんなキーワードを出しても構いません。チェーンエリアのカードに描かれた絵、または連想できるキーワードと、共通の場に並んだカードの絵、または連想できるキーワードでしりとり(言葉をつなぐ)をします。プレイヤーの順番はなく早い者勝ちなので、最初にそれを発見できた人は…、「ウォッチャ!」と叫び、対象の場のカードをチェーンエリアのカードの隣に置き、キーワードを他のプレイヤーに発表します。(※この間、他のプレイヤーは「ウォッチャ!」してはいけません。)さらに、置いたカードの上の方に自分のカラーコマを1つ置きます。



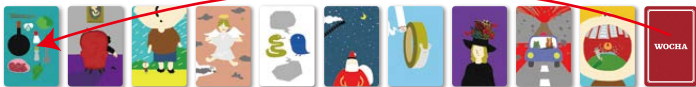
←カラーコマ

例:  
「おんなのこ」→「国旗(こっき)!(フランスの…)」など。

「ウォッチャ!」を宣言した人がキーワードを発表しながらカードを置く。それから自分のカラーコマをその上に置く。



- その後、空いた場所には新たに山札の一番上のカードを表向きにし補充します。



- そして、(上の例の場合でいくと)次は「国旗(こっき)→(き)から始まるキーワード」を場から、先ほどと同じように探して、最初に見つけた人は「ウォッチャ!」と叫び、カードとコマを置き…を繰り返します。